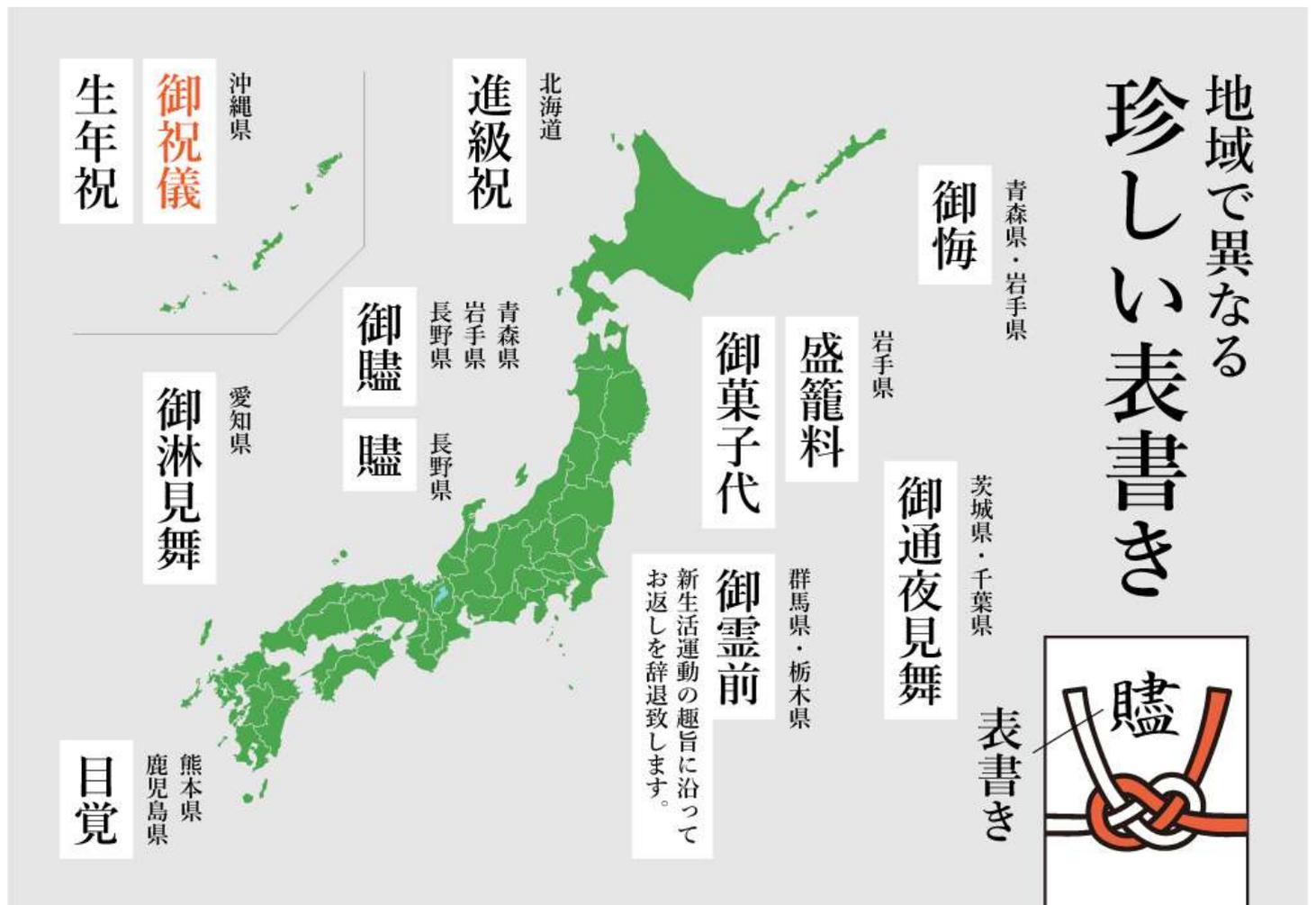


創業138年の祝儀品メーカーが地域で異なる『珍しい表書き』公開  
祝儀袋・不祝儀袋に見る地域文化のちがい  
～ 「進級祝」「御淋見舞」「目覚」など、あらゆる表書きを紹介 ～

「こころ くらし 包む」をモットーに、さまざまな製品を通じて毎日のくらしに彩りと楽しさを提供する紙製品・化成品メーカーの株式会社マルアイ（本社：山梨県市川三郷町、代表取締役社長：村松道哉、以下「当社」）は、長年にわたり祝儀品を手がけてきた知見と、全国での販売活動を通じて得た情報をもとに、この度、地域で異なる祝儀・不祝儀袋の『珍しい表書き』をまとめて公開します。



当社は今年で創業138年を迎える紙製品メーカーです。これまで祝儀袋や封筒など、冠婚葬祭や日常の心遣いの場面で人と人の気持ちをつなげる製品を製造・販売してきました。とくに祝儀・不祝儀袋においては業界トップシェアを誇り、伝統的なものから現代的なデザインのものまで、約500種類を取り揃えています。

これまで当社は、全国に拠点を構え、各地に販売ルートを広げるなかで、祝儀・不祝儀袋の表書きなど、地域ごとの特色を踏まえた製品の製造・販売に取り組んできました。日本各地には冠婚葬祭にまつわる独自の文化や習慣が

あることが知られていますが、祝儀袋や不祝儀袋にも、色や形、表書きなどに地域ごとの違いが見られます。たとえば、仏事で一般的に用いられるのは黒白の水引ですが、関西地方では黄白の水引が用いられるなど、地域によってさまざまな違いがあります。

こうした地域ごとの違いや特色を広く紹介するため、この度当社は、販売活動を通じて得た祝儀・不祝儀袋の『珍しい表書き』をまとめました。本資料は、地域ごとの文化や習慣を知る手がかりとして活用されることを期待しています。

**地域で異なる珍しい表書き** ※写真のアイテムは当社が実際に展開している製品です。

**■進級祝／北海道**

小学校・中学校・高校への入学祝いには、「御入学祝」や「入学御祝」と書いた祝儀袋を使用するのが一般的ですが、北海道では小学校入学時のみ「御入学祝」「入学御祝」等を使用し、その後の中学校や高校入学の際には「進級祝」と書いた祝儀袋を使用します。



**■御贖（おはなむけ）／青森県（津軽地方）・岩手県・長野県**

**■贖（はなむけ）／長野県（佐久市、佐久地方）**

披露宴で持参する祝儀とは別に、新郎新婦にお祝い金を贈る際に使用します。主に親や親戚など、近しい間柄の人が贈ることが多いです。



**■御祝儀（赤文字）／沖縄県**

結婚、出産、就職、成人のお祝いなど、慶事に幅広く使用します。



**■生年祝／沖縄県**

生年祝（トゥシビー）は、その人の生まれ年や数え年に合わせて長寿や健康を祝う沖縄県の行事です。お祝いとして現金を贈る際に「生年祝」と書いた祝儀袋を使用します。



■御悔／青森県・岩手県沿岸部

通夜で香典を贈る際に使用します。



■御霊前 新生活運動の趣旨に沿ってお返しを辞退致します。／群馬県・栃木県（両毛地区）

香典を贈る際に、香典返しを辞退する旨を伝える目的で使用します。戦後の経済的に厳しい時期に、相手に負担をかけないよう「香典を少なくして香典返しを辞退する」という考え方が広まりました。その習慣はとくに群馬県の一部地域に定着し、現在も受け継がれています。



■盛籠料／岩手県北部

通夜や葬儀において、盛籠（お供物）の費用負担や、その代わりとして現金を贈る際に使用します。



■御菓子代／岩手県北部

通夜でふるまわれる菓子や軽食などの費用負担や、そのお礼として現金を贈る際に使用します。



■御通夜見舞／茨城県・千葉県

通夜に持参する菓子や酒などの手土産、またはそれに代わる現金を贈る際に使用します。生前に故人の入院見舞いができなかったことへのお詫びや、遺族を労うためのものとされています。



### ■御淋見舞／愛知県を中心とした周辺エリア

通夜に持参する菓子や酒などの手土産、またはそれに代わる現金を贈る際に使用します。「遺族が寂しい思いをしないように」という意味があり、遺族を労うためのものとされています。



### ■目覚（目覚まし）／熊本県・鹿児島県の一部エリア

通夜に持参する菓子や酒などの手土産、またはそれに代わる現金を贈る際に使用します。「遺族に一晚中線香の火を絶やさないように目を覚めてほしい」、「故人に再び目を覚ましてほしい」、「故人の死を通じて仏法に目覚めてほしい」などの意味があるとされています。

目覚

### おわりに

表書きの違いには、その土地で大切に受け継がれてきた人と人との関わり方が映し出されています。こうした違いを知ることで、贈り物に込められた思いや、受け取る側への細やかな心遣いに改めて気づくことができます。

みなさんの地域にも、きっとその土地ならではの言葉やかたちが息づいているのではないのでしょうか。本資料が、地域ごとの文化や習慣を知る手がかりとなれば幸いです。

当社は今後も、このような情報発信を通じて、冠婚葬祭文化の継承と発展に貢献してまいります。

### マルアイについて

1888（明治21）年創業。山梨県市川大門に本社を構え、祝儀袋や事務用封筒などの日用紙製品と、食品や精密機器を保護するための産業用包材を製造・販売しています。中でも祝儀袋・不祝儀袋は合わせて約500種類以上を展開し、業界で高いシェアを占めています。「こころ 暮らし 包む」をモットーに、みなさまの暮らしを豊かにする製品を提供しています。

社名：株式会社マルアイ

代表：村松道哉

本社所在地：山梨県西八代郡市川三郷町市川大門  
2603 番地

設立：昭和22年5月30日

HP：<https://maruai.co.jp>

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社マルアイ 広報担当

E-MAIL：[pr@maruai.co.jp](mailto:pr@maruai.co.jp) TEL：070-7416-9987